

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

近年厳しさを増す猛暑に備え、岡山県警がサングラスと熱中症予防グッズの使用を認める対策に乗り出しています。記事を読んで質問に答えましょう。

低学年も
チャレンジ!

Q1 岡山県警の取り組みを読んで、どのように感じましたか。自由に意見を書きましょう。

Q2 使用を想定している熱中症予防グッズにはどんなものがありますか。記事から三つ探して、答えよう。

Q3 サングラスは白バイ隊員らが一部で着用していたそうです。その理由は何ですか。記事を参考に答えよう。

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

サングラス、ネッククーラー… 警察官が猛暑対策 岡山県警グッズ公開



岡山県警は、サングラスと熱中症予防グッズの使用を認める猛暑対策を始め、19日、警察官が装着した姿を県警本部で報道陣に公開した。

サングラスは、形状とレンズの色が派手で、屋外活動に限って認め、市民と接する際は外すことが

条件。熱中症予防グッズは、首元を冷やすネッククーラーや腰に取り付けるペットボトルホルダー、携帯扇風機などを想定している。いずれも各自が用意し、所属長の許可を得て使用する。

県警によると、サングラスは日差しによる事故が心配される白バイ隊員らが一部で着用していたが、ルールは

「交通取り締まりの際に直射日光で見えにくく、熱中症対策グッズの使用とともに県民の理解を得たい」と話した。（亀井良平）

猛暑対策でサングラスと熱中症予防グッズを装着した警察官。県警本部では、警察官6人が対策をしてパトカーや白バイでパトロールする様子を披露した。岡山中央署地域課の福武佑樹巡査は「交通取り締まりの際に直射日光で見えにくく、熱中症対策グッズの使用とともに県民の理解を得たい」と話した。（亀井良平）